

西河技術経営塾研究科前期 講義録 TA14

作成：瀧川 淳

**日時**：平成 30 年（2018 年） 4 月 4 日（水）午後 4 時 00 分 ～ 午後 4 時 45 分  
**場所**：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）  
**講師**：小平和一郎  
**研究生**：瀧川 淳  
**講義名**：(TA14) <sup>1</sup>「研究課題論文、敬愛大学でのビジネス事例報告について」

## 講義内容

### 1. 概要

- 第 14 回目（TA14）の講義（研修）を行った。内容は以下の通り。
- ・2018 年 3 月末の四万温泉特別合宿での論文経過報告を振り返り
  - ・敬愛大学でのビジネス事例報告（2018 年 6 月を予定）のレジメ案について議論

### 2. 小平からの要望とフィードバック

#### （1）要望

四万温泉特別合宿で報告を内容では、前回の報告からかなり問題意識は整理されたが、それでも論文として取り上げるには、研究テーマとしてはもっと絞り込んだ内容にすべきである。

#### （2）フィードバック

方針としては前回からの続きで問題ないが、とにかく論文の形式で書き始めて、こまめに報告することが望ましい。そうすることで論点がブラッシュアップされるからである。なお、方針としては、前回同様、現状の内容から、下記 3 つ程度に振り分け、それぞれを研究すべきだが、まず下記（イ）から取り組むとよい。

（ア）成分ブランドとエンジニアリング・ブランドの機能比較

（イ）技術シーズで探る潜在ニーズ（需要表現とエンジニアリング・ブランドの比較）

（ウ）エンジニアリング・ブランドを活用したマーケットコミュニケーション、ビジネスモデルづくり、市場創生

### 3. 次回までの宿題

（1）敬愛大学のレジメ案を講義で使用するためのパワーポイント形式にして出来次第提出

（2）上記研究課題について引き続き推敲（論文スタイル）

### 4. 次回日程

（1）次回日程 論文に着手し、都度メールで提出

#### （2）参考資料

『戦略的ブランド・マネジメント 第 3 版』（2010 年）『戦略的ブランド・マネジメント』（2004 年）、ケビン・レーン ケラー著 東急エージェンシー

『コトラーのマーケティング 4.0 スマートフォン時代の究極法則』（朝日新聞出版、2017 年）

『BtoB 事業のための成分ブランディング - 製品開発と組織購買への応用』（余田拓郎、中央経済社、2016）

以 上

---

<sup>1</sup>（注）TA01：TA とは、Takigawa のこと。01 は、1 回目。第 2 回は、TA02 となる。